

校長室だより

みなみ風



令和3年10月8日

No.6

前期終業式

本日、前期終業式で、以下のことを話しました。

今日で、95日間の前期が終わります。

この後、みなさんには担任の先生から通知表「あゆみ」が手渡されます。前後期ごとなので、1年間に2回、6年間で12回渡される「あゆみ」には、どんな意味があるのでしょうか。

私は、こう思います。

あゆみの「あ」は、新しい目標を見つけるため
あゆみの「ゆ」は、夢を叶える力を身につけるため
あゆみの「み」は、魅力ある自分に出会うため



みなさんは、この前期の間に、新しい目標を見つけ取り組みましたか。
夢を叶える力を身に付ける努力をしましたか。
魅力ある自分に気づくことができましたか。

「あゆみ」という言葉には、一人で「歩く」という意味とみんなで心を合わせて歩く「歩調」という意味があります。どちらの歩みも大切です。

来週から後期が始まります。後期は103日あります。ずい分と時間がありますので、目標を持ち、やり続けることができれば、成果が必ず上がります。

今日、担任の先生から渡される「あゆみ」が、みなさんの成長や成果につながることを期待しています。

20歳から59歳を対象に行ったある調査によると、小学生の頃になりたい職業や夢が叶った人は約17%、現在目指している最中という人が約5%。一方で、なりたい職業や夢が無かったと回答した人は約10% (2017年 CareerGroove 調査より) だそうです。

将来の夢や希望がもてる、自分自身の興味や関心に気付くことができる、そんな働きかけをしていきたいですね。